

黒田節

本調子

さ		↓		さ		け		は		の		め		の		め		の		む		な		ら	
老	○	四	中	中	四	老	四	老	乙	老	中	中	尺	中	上	老	上								
中	○	○	○	上	ひ	○	上	中	上	中	尺	○	五	尺	五										
中	の	や	り	を					の	み	と	る													
老	四	老	乙	乙	老	四	老	乙	老	四	中	○	四	老	乙										
尺	○	五	尺	中	六	七	六	五	尺	五	中	中	尺	中	上	老	上								
こ			れ	ぞ	ま	こ	と		の	く	ろ	だ	ぶ												
中	○	○	○																						
し		↑																							

一、酒は飲め飲め 飲むならば
日（ひ）の本（もと）一の この檜
（やり）を
飲みとるほどに 飲むならば
これぞまことの 黒田武士

二、峰（みね）の嵐か 松風か
訪（たず）ぬる人の 琴の音（ね）
か
駒をひきとめ 立ち寄れば
爪音（つまおと） 高き 想夫恋（そ
うふれん）

三、春の弥生（やよい）の あけぼのに
四方（よも）の山辺を 見渡せば
花のさかりも 白雲の
かゝらぬ峰こそ なかりけれ

四、花たちばなも 匂うなり
軒（のき）の菖蒲（あやめ）も か
おるなり
夕暮れ前の 五月雨（さみだれ）に
山ほととぎす 名のりして